

高知県環境活動支援センターえこらぼ

平成 29 年度の取り組み

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

高知県環境活動支援センター **えこらぼ**について

高知県環境活動支援センターは、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すために平成18年4月に設置されました。以来、県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っています。

も く じ

1	環境活動に関する情報発信	1
1)	ホームページによる環境活動情報の提供	2
2)	ホームページ以外の情報提供	2
2	地域や教育現場における環境学習の支援	3
1)	環境学習講師の紹介・派遣	3
2)	第6回 高知「環境絵日記」	3
3)	こどもエコクラブ事業	8
3	生物多様性地域戦略推進事業	10
1)	生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催	10
2)	リーダー活動現場体験ツアーの実施	12
4	環境イベントの開催	13
1)	「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」の開催	13
5	生物多様性の意義の普及・啓発	15
1)	普及啓発キット（パネル・資料等）の作成・貸出し	15
2)	イベント開催・出展の機会を捉えた普及啓発活動	16
6	体験型環境学習・研修イベント	17
1)	環境×仕事の現場を見に行くバックヤードツアーの実施	17
7	環境活動団体の支援	19
1)	団体交流会の開催	19
2)	助成金情報の提供	19
8	その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務	20
1)	環境学習プログラムリストの作成	20
2)	「地球温暖化と公共交通」をテーマにした出前授業の実施	21
3)	「こうちエコ川柳大賞」の実施	22
4)	環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布	23
9	PR活動	24
1)	PRツールの作成	24
2)	報道機関への情報提供	24
10	センターの運営	25
1)	センターの開館日及び開館時間	25
2)	運営委員会の組織・運営	25
3)	高知県との定期連絡会の開催	26

1 環境活動に関する情報発信

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

管理運営団体：特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

★home about mail

えこらぼについて

イベント情報

お知らせ・募集情報

学校や地域での環境学習をサポート
講師紹介・派遣

体験プログラムや学習会に参加しよう
高知県の環境学習施設一覧

活動を知ろう・協力者を募ろう
環境活動団体紹介

生物多様性を守る取り組み

高知「環境絵日記」

子どもエコクラブ高知県事務局

メールマガジン
「えこらぼだより」

助成金情報

リンク集

お問い合わせ

サイトマップ

見て、触れて、遊んで学べる
環境活動見本市
幡多のエコ大集合
in 黒潮町

ちびっこ
集まれ!

入場無料
一部有料の企画あり

平成30年3月18日(日) 10:30～15:00
【会場】土佐西南大規模公園ふるさと総合センター

トピックス

◆えこらぼの所在地・ご利用時間◆
高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター「ソール」3F
(認定NPO法人 環境の杜こうち)
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205
E-mail：center@ecolabo-kochi.jp

◇ご利用時間◇
月曜日 9:00～17:00 火～金曜日 9:00～18:00
土曜日 13:00～17:00 ※日曜日、祝日、第2水曜日休み
環境活動や環境学習に関するご相談など、お気軽にご利用ください。

イベント新着 お知らせ新着 助成金新着 ←見たい情報タグをクリックください

2018/03/20【イベント情報】
春のピーチクリーンアップ2018 (4/21) [詳細](#)

2018/03/20【イベント情報】
食と農と学びの講座「おから味噌手づくり体験教室」(4/15) [詳細](#)

2018/03/20【イベント情報】
創育係の青空お話し会 (4/15) [詳細](#)

2018/03/13【イベント情報】
研究用サンプル採集 標本作製会(3/18) [詳細](#)

こーちの
こどもエコクラブ

高知県環境共生課
Environmental Symbolists Division

高知県林業振興・環境部
新エネルギー推進課

高知県地球温暖化防止
県民会議

高知県地球温暖化防止
県民会議 県民部会

KCCCA
高知県地球温暖化防止センター

交通エコポイント活用推進センター
「エコポイント」

四国EPO

環境活動見本市
幡多のエコ大集合
in 黒潮町

平成30年3月18日(日)
10:30～15:00

こうちエコ川柳大賞
結果発表

平成29年度
高知「環境絵日記」
選考結果発表

子どもエコクラブ
JUNIOR ECO-CLUB

環境関連のイベント・ニュースを配信
メールマガジン
えこらぼだより

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

管理運営団体
特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち
男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

★home about mail

Copyright © ecolabo All Rights Reserved.

1) ホームページによる環境活動情報の提供

① 環境活動団体及び環境学習講師のデータベース（検索機能付）

高知県内で環境活動に取り組む団体や環境学習講師として活動する方々に登録していただき、データベースを公開しています。年に一度、登録内容の確認・更新作業を行い、また、新しく登録した団体や講師に関する情報を随時掲載し、県民に広く情報を提供しています。

[登録]	環境活動団体： 121 団体	環境学習講師： 155 名
------	----------------	---------------

② 自然体験・環境学習施設一覧

高知県内で自然体験や環境学習プログラムを提供している施設に関する情報をまとめて、ホームページで公開しています。また、これらの情報は、事務局に寄せられる環境学習に関する問合せ等への対応にも役立てています。

③ 環境関係のイベント情報や助成金情報の提供

毎週火曜日に県内の環境イベントや助成金等の情報を収集し、定期的な情報発信をしています。

[掲載件数]	イベント情報： 204 件	募集・お知らせ： 34 件
	助成金情報： 57 件	

2) ホームページ以外の情報提供

① メールマガジン「えこらぼだより」の配信

県内で実施される環境に関するイベント情報や助成金情報などを、毎週火曜日に配信しています。

[配信頻度]	毎週火曜日	[登録者数]	1,159 名
[主な配信先]	環境に関心のある県民、県内の環境活動団体、県内の小・中・高等学校、県・市町村職員、県内マスコミ各社 など		

② 学校への直接的な情報提供

学校や教育委員会等に対し、事業案内資料を送付すると共に、学校を対象とする各種事業に関する情報提供を随時行いました。

③ SNS を活用した情報の発信

センターが実施する各種事業の告知・報告等に Facebook を積極的に活用しました。

[投稿記事数]	76 件	[フォロワー数]	345 名
---------	------	----------	-------

2 地域や教育現場における環境学習の支援

1) 環境学習講師の紹介・派遣

学校等からの相談に対し、適切な環境学習講師の紹介、派遣日時や内容等を含めた全体の調整を行っています。また、相談者が講師の謝金、旅費等を負担しえない場合は、講師に活動費を支給しています。

〔講師紹介・派遣件数〕	46 件	〔紹介・派遣した講師〕	61 名
〔環境学習受講者数〕	1,902 人		



8/4 蓮池なかよしクラブ
「貝殻クラフトづくり」
講師：濱松 英彦 さん



2/24 タッキーホタルクラブ
「ビオトープの生きものしらべ」
講師：石川 妙子 さん

2) 第6回 高知「環境絵日記」

高知県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動し、その経験を絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を実施しています。

平成29年度の作品テーマは「伝えたい！ぼくのわたしのエコじまん」。県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集し、66の小学校から3,277作品の応募がありました。



作品テーマ	「伝えたい！ぼくのわたしのエコじまん」
募集期間	平成29年6月23日～9月6日
応募資格	高知県の小学校に通う1～6年生 自筆・未発表の作品
応募方法	在学の小学校へ提出（学校ごとに取りまとめて応募）
協力	全国環境絵日記実行委員会

① 平成 29 年度応募数

作品数：3,277 点	学校数：66 校	参加市町村：23 市町村
-------------	----------	--------------

② 選考委員会の開催

有識者 5 名からなる選考委員会を開催し、募集要項および作品テーマの決定、表彰対象作品の選考を行いました。

	開催日	内容
第 1 回選考委員会	平成 29 年 6 月 13 日	募集要項、作品テーマの決定
第 2 回選考委員会	平成 29 年 10 月 23 日	2 次選考および優秀作品選考会

③ 作品選考会の実施

平成 29 年 10 月 14 日、高知県地球温暖化防止活動推進員等からなるボランティア選考員による 1 次選考会を行い、2 次選考の対象となる 112 作品を選考したのち、10 月 23 日に選考委員会による 2 次選考および優秀作品選考会を行い、以下の賞を選出しました。

■個人の部

環境絵日記大賞	全作品から最も優れた作品 1 点
優秀特別賞	低学年の部（1～3 年生）、高学年の部（4～6 年生）より 10 点
部門賞	低炭素社会づくり賞、循環型社会づくり賞、 自然共生社会づくり賞 各 1 点
のいち動物公園長賞	1 点
入賞（えこらぼ賞）	全作品の中から 97 作品

■団体の部

学 校 賞	入賞作品の多い学校から低学年、高学年それぞれ 1 校ずつ
学 校 特 別 賞	特に熱心な取り組みをした学校を 3 校



1 次選考会



優秀作品選考会

④ 選考結果の発表

選考結果の発表は、10月24日にホームページで行いました。

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL: 088-802-7765 FAX: 088-802-2205

★home ♪about ✉mail

平成29年度 高知「環境絵日記」

伝えたい！ぼくのわたしのエコじまん

環境活動支援センターえこらぼでは、今年の夏も、高知県内の小学生が描いた「環境絵日記」の作品を募集しました。

「環境絵日記」は、子どもが夏休みに家族と一緒に環境について考え、行動し、その経験を絵日記という形で楽しみながら表現することで、子どもたちに環境への意識を育んでもらおうというねらいで始めた取り組みです。

平成29年度の作品テーマは「伝えたい！ぼくのわたしのエコじまん」。

高知県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集し、66の小学校から3,277作品の応募がありました。

えこらぼについて

イベント情報

お知らせ・募集情報

学校や地域での環境学習をサポート

講師紹介・派遣

体験プログラムや学習会に夢中しよう

高知県の環境学習施設一覧

活動を紹介・なまかを覗く

環境活動団体紹介

生物多様性を守る取り組み

高知「環境絵日記」

こどもエコクラブ高知県事務局

メールマガジン「えこらぼだより」

環境絵日記大賞

「夏は白と黄の服がおすすめ」
香美市立香長小学校6年 時久 心 さん

3,277の応募作品の中から、「環境絵日記大賞」「優秀特別賞」「部門賞」「のいち動物公園賞」「入賞（えこらぼ賞）」に選ばれた112作品を紹介します。児童のみなさんの、身近な環境についての発見をどうぞご覧ください。

[平成29年度高知「環境絵日記」入賞作品一覧へ](#)



また、10月30日の高知新聞朝刊「こども高知新聞」でも紹介されました。



⑤ 表彰式

「環境絵日記大賞」、「優秀特別賞」、「部門賞」、「のいち動物公園長賞」、「学校賞」および「学校特別賞」受賞校を表彰しました。

開催日	平成 29 年 11 月 12 日（日）13:30～15:00
場 所	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館 1 階



⑥ 作品展

高知県立のいち動物公園での入賞作品展をはじめ、県内各地で行われるイベントの会場等で作品展を行いました。特に地域で開催されるイベントでは、その地域の小学校からの応募全作品を展示し、地域の方々に子どもたちの作品を見てもらう機会としました。

日 程	会 場	
平成 29 年 11 月 3 日	大月町マグロ祭り	大月町総合グラウンド
平成 29 年 11 月 11 日 ～11 月 23 日	平成 29 年度高知「環境絵日記」入賞作品展	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館
平成 29 年 11 月 23 日	香南ふれあい祭り	香南市のいちふれあいセンター
平成 29 年 11 月 26 日	地形がはぐくむ自然の恵み フェスタ in 室戸	室戸市保健福祉センターやすらぎ
平成 29 年 12 月 10 日	環境絵日記展 2018	横浜市 大さんばしホール
平成 30 年 2 月 3 日 ～2 月 4 日	こうち環境博 2018	こうち男女共同参画センター ソーレ
平成 30 年 3 月 3 日	物部川に感謝する日～かわ ってきたかえ物部川～	高知工科大学
平成 30 年 3 月 18 日	環境活動見本市 in 黒潮町 ―幡多のエコ大集合―	土佐西南大規模公園ふるさと総 合センター



11/3 大月町マグロ祭り



こうち環境博 2018

⑦ 「こうち環境絵日記 in Tシャツアート展」

黒潮町で開催される「Tシャツアート展」(平成 30 年 5 月 2 日(水)～7 日(月)、主催:特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館)に、平成 29 年度の優秀作品を出展し、県民に広く環境絵日記を知ってもらう機会とするため、作品をプリントしたTシャツを制作しました。制作したTシャツは、11 月に県立のいち動物公園で実施した入賞作品展や、3 月 18 日に開催した「環境活動見本市 in 黒潮町一幡多のエコ大集合」等で一足先に展示し、PR を行いました。



11/11～23 高知「環境絵日記」
入賞作品展 (県立のいち動物公園)



3/18 環境活動見本市 in 黒潮町
(土佐西南大規模公園ふるさと総合センター)

⑧ 「COOL CHOICE 環境絵日記電車」

南国市環境課が実施した「平成 29 年度地域と連携した CO2 排出削減促進事業」の取り組みの一つとして、11 月 1 日～1 月 31 日の期間、南国市内の小学校から応募された環境絵日記作品が、路面電車側面への広告、車内に掲示されました。



11/1～1/31 COOL CHOICE 環境絵日記電車

⑨ 南国市指定ごみ袋包装紙による普及啓発

南国市が、市の指定ごみ袋の包装紙に、南国市内の小学校から応募された環境絵日記作品を掲載しました。この取り組みは、平成 25 年度から継続して行われており、「環境絵日記」を通して地域の方々に子どもたちの環境意識を届ける機会となっています。



⑩ 高知「環境絵日記」PR 用カレンダーの作成

高知「環境絵日記」の認知度向上と、次年度の参加校拡大につなげるために、今年度の優秀作品を掲載したカレンダーを作成しました。このカレンダーは、平成 30 年度の募集に合わせて、県内の小学校等へ配布する予定です。

仕様： A4 版 16 ページ 作成部数：700 部



3) こどもエコクラブ事業

高知県事務局および市町村事務局のない区域の事務局として、県内の小中学校や企業・団体等への情報発信および新規登録の推進、子ども達の地域での環境保全活動や環境学習に対する支援を行いました。

高知県内のこどもエコクラブ

◇登録数：13 クラブ ◇メンバー数：111 人

◇平成 29 年度新規登録クラブ

- ・高知小学校タッキーホテルクラブ
- ・仁淀川お宝探偵団こどもエコクラブ

こどもエコクラブとは

幼児（3 歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブ。子どもたちの環境活動・学習を支援し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。こどもエコクラブ事業は、環境活動・学習に関わる有識者や環境省、文部科学省、地方自治体等と連携しながら、全国こどもエコクラブ事務局（（財）日本環境協会）が運営しています。

① こどもエコクラブ壁新聞の募集

1年間の活動をまとめた壁新聞を募集し、こどもエコクラブ全国事務局が実施する壁新聞コンテストに応募しました。

応募数：7クラブ 8作品

高知県からは「香美市こどもエコクラブ ハッピーコロリン」の作品が県代表に選ばれ、同クラブのメンバーが、3月25日に東京で開催された「こどもエコクラブ 全国フェスティバル」に招待されました。



② こどもエコクラブ壁新聞展・交流発表会の開催

2月3日に開催された「こうち環境博 2018」（主催：NPO 法人環境の杜こうち）において、こどもエコクラブ壁新聞展と交流発表会を開催し、県内の8つのクラブが参加しました。

また、同日、各クラブのサポーターとこどもエコクラブ全国事務局、高知県事務局によるサポーター交流会を実施しました。各クラブの活動や運営上の課題、また事務局による支援のニーズなどについての意見交換を行い、地域のNPO団体の活動や地元企業のCSR活動とのマッチングが活動の発展につながっている事例などを共有しました。



こどもエコクラブ全国事務局の方と
楽しくゲーム



1年間の活動をまとめた壁新聞で活動発表

3 生物多様性地域戦略推進事業

1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催

「生物多様性こうち戦略」を推進するため、生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関しての専門性を有する先導的な人材として、平成 30 年度末までに 50 名の「生物多様性こうち戦略推進リーダー」をの登録を目標に、養成講座（全 2 回）を開催しました。



① 養成講座 1 知識編

日時：平成 29 年 9 月 9 日（土）13:00～16:30

場所：高知市市民活動サポートセンター大会議室

受講者：20名（定員20名）

② 養成講座 2 応用編

日時：平成 29 年 9 月 16 日（土）13:00～16:30

場所：こうち男女共同参画センター ソーレ研修室3

受講者：18名（養成講座1の受講者対象）



■プログラム

日程	内容	講師
講座 1 9/9 13:00 ～ 16:30	・ 推進リーダー登録制度の概要と養成講座の目的	高知県環境共生課、 高知県環境活動支援センターえこらぼ
	・ 生物多様性の意義、国内外の取り組みの概要	国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J) 事務局長 道家哲平 氏
	・ 生物多様性こうち戦略の概要 ・ 高知県の自然環境の現状と課題及び必要な対策について	高知大学教育研究部自然科学系理学部門 教授 石川慎吾 氏 高知生物多様性ネットワーク 岩瀬文人 氏
講座 2 9/16 13:00 ～ 16:30	・ 県内で実施されている生物多様性の保全・再生に資する活動事例	ファシリテーター： (株) わらびの 畠中智子 氏
	・ 各々の活動を通して生物多様性の意義や保全を「伝える」ワークショップ	事例発表者： 高知生物多様性ネットワーク 会員、推進リーダー登録者等
	・ リーダー登録の案内 ・ 情報提供	高知県環境活動支援センターえこらぼ



第1回講座



第2回講座

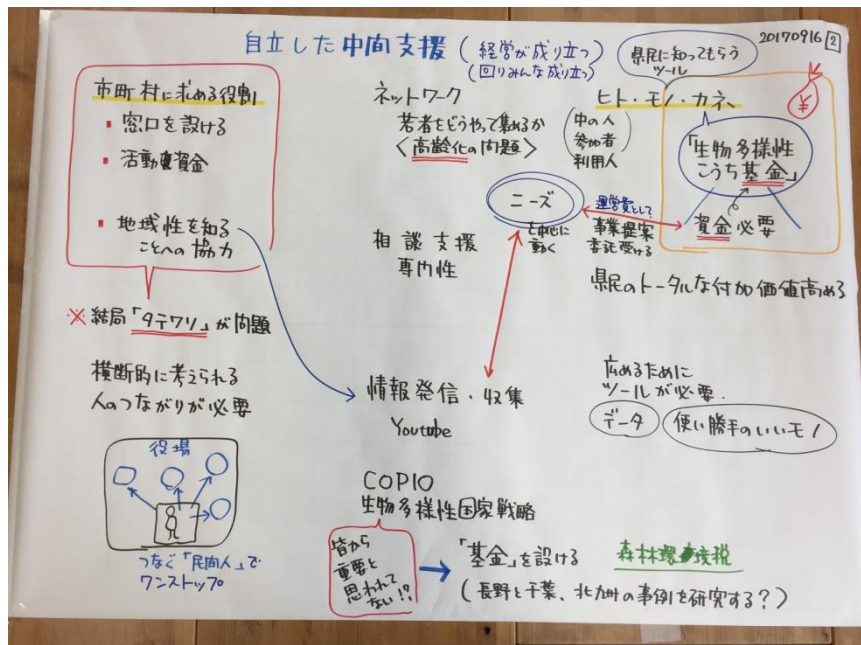
ワークショップのまとめ①

受講者が行っている生物多様性に関連する取り組みを書き出してみると、非常に多様で幅広い活動が行われていることがわかりました。



ワークショップのまとめ②

今後生物多様性を守る取り組みを広げるには、全県下で行われている取り組みを地域に落とし込むための中間支援が必要であるとの共通意見が導き出され、必要な中間支援について活発に意見が交わされました。



■登録状況

登録者数：23名 ※内 平成29年度登録者：12名

(養成講座受講者：10名 リーダーの推薦による登録者：2名)

2) リーダー活動現場体験ツアーの実施

地域における生物多様性保全や環境教育の担い手となる人材を育てることを目的に、リーダーが活動している現場への体験ツアーを実施しました。

① 「地形がはぐくむ自然の恵みフェスタ in 室戸」への参加

室戸市で行われた生物多様性の普及啓発イベントに参加して、シンポジウムや活動発表を見学するとともに、主催者及び出展団体との交流を通して、県内で行われている様々な生物多様性の保全活動についての知見を広めました。

実施日：平成 29 年 11 月 25 日（土）～11 月 26 日（日）

場 所：室戸ジオパーク、室戸青少年自然の家、室戸市保健福祉センターやすらぎ

参加者：7 名（研修対象となる活動の主催メンバー3 名を含む）

内 容：シンポジウム、ポスターセッション、ワークショップ、飲食出店、
室戸岬自然めぐりツアー

主 催：高知生物多様性ネットワーク

共 催：室戸市



シンポジウム



ポスターセッションとワークショップ

② 近自然工法ガイドツアー

「近自然工法」を施工した現場を視察し、水制工と置石によって作られた緩急のある水流や瀬と淵、河床の砂礫、ヤナギ類の挿し木によって回復した植生などにより水面の表情が豊かになり、河川生態系の多様性が高まっていることなどを学びました。

日 時：平成 29 年 12 月 16 日（土）9:00～15:00

場 所：高岡郡津野町 北川

対象者：リーダー養成講座受講者、登録済リーダー等

コーディネーター・ガイド：福永 泰久 氏（生物多様性こうち戦略推進リーダー）

講 師：石川 妙子 氏、有川 崇 氏

参加者：3 名



落差工の改修により魚の遡上が可能になった。



道路工事後にコンクリート張りになった水際に石積み緑化を施すことで植生が回復した。

4 環境イベントの開催

1) 「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」 の開催

高知県西部地域の環境活動団体や環境学習講師の活動を地域の方々に紹介するとともに、学校や生涯学習の場への環境学習講師紹介・派遣の普及を図ることを目的とする、体験型環境学習イベントを開催しました。

えこらぼの登録講師・団体を中心に 17 団体が参加し、体験型環境学習プログラムや展示のほか、ダンボール巨大迷路や木のおもちゃコーナーなどの遊びのプログラムを提供し、親子連れを中心に、黒潮町内外から多くの来場がありました。

開催にあたっては、えこらぼの登録講師・団体の他、NPO 法人 NPO 砂浜美術館（黒潮町）の協力により、これまでにつながりのなかった団体の参加も得ることができ、県西部地域における環境活動のネットワークの拡大につながりました。



日 時： 3 月 18 日（日）10:00～15:00

会 場： 土佐西南大規模公園ふるさと総合センター
（幡多郡黒潮町入野 176-2）

対象者： こどもを含む家族連れ、こども向けイベントに関心のある県民、学校関係者、生涯学習関係者など

来場者： 591 人

出展・参加団体数： 17 団体

協 力： NPO 法人 NPO 砂浜美術館、NPO 法人高知県生涯学習支援センター



■出展団体（17 団体）

- 特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館
- 大方ホエールウォッチング
- Sakanayama Lab. (魚と山の空間生態研究所)
- はーと・らいふ村 工房ポレポレ
- 公益財団法人 四万十川財団
- しまんと新聞ばっぐ高知支部
- 高知野鳥の会
- BLUE BLUE
- 環境省四国環境パートナーシップオフィス
- 特定非営利活動法人黒潮実感センター
- 四万十川自然再生協議会
- NPO 四国循環型社会研究会
- 高知おもちゃ病院しまんと診療所
- 大月町地域資源活用協議会
- 高知県立足摺海洋館
- 公益社団法人高知県森と緑の会
- 高知県生涯学習支援センター

5 生物多様性の意義の普及・啓発

1) 普及啓発キット（パネル・資料等）の作成・貸出し

生物多様性こうち戦略推進リーダーの活動支援を目的に、講師としての活動やイベント出展時に使用してもらうための普及啓発パネルや資料等の作成・貸出を行いました。

■普及啓発キットの内容

- ・生物多様性こうち戦略（概要版）パネル（13 枚）
- ・生物多様性こうち戦略（概要版）パンフレット
- ・「生物多様性×こうち」ハンドブック（高知県作成）
- ・「生物多様性×こうち」缶バッジ
- ・「生物多様性×こうち」エコバッグ

■活用実績

利用日	場所・イベント等	活用内容
平成 29 年 9 月 23 日	仁淀川こども祭り（日高村）	パネル展示、資料・バッジ等の配布
9 月 24 日	鏡川こども祭り（高知市）	
10 月 11 日	高知大学農林海洋科学部 1 回生の授業	約 100 名に資料の配布
11 月 26 日	地形がはぐくむ自然の恵みフェスタ in 室戸（室戸市）	パネル展示、資料・バッジ等の配布
平成 30 年 2 月 3・4 日	こうち環境博 2018（高知市）	
3 月 3 日	物部川に感謝する日～かわってきたかえ物部川～（香美市）	資料・バッジ等の配布
3 月 18 日	環境活動見本市 in 黒潮町（黒潮町）	パネル展示、資料・バッジ等の配布



こうち環境博 2018



地形がはぐくむ自然の恵みフェスタ
in 室戸

2) イベント開催・出展の機会を捉えた普及啓発活動

自然や生きもの、環境をテーマにしたイベントへの出展を通して、前述の普及啓発パネルや資料等を用い、広く県民に生物多様性の意義の普及・啓発を行いました。

イベント出展の際には、生物多様性こうち戦略推進リーダーの協力を得て、リーダーによる環境学習プログラムを実施するなどしました。

■出展イベント

利用日	場所・イベント等	出展内容
平成 29 年 9 月 23 日	仁淀川こども祭り（日高村）	メダカビンゴクイズ、生きものつながりマップ など
9 月 24 日	鏡川こども祭り（高知市）	生きものつながりマップ、海ごみに関する展示
11 月 26 日	地形がはぐくむ自然の恵みフェスタ in 室戸（室戸市）	生きものつながりマップ
平成 30 年 2 月 3・4 日	こうち環境博 2018（高知市）	深海生物タッチング水槽、生きもの〇×クイズ、パネル展示 など
3 月 18 日	環境活動見本市 in 黒潮町（黒潮町）	パネル展示



「深海生物タッチング水槽」
（こうち環境博 2018）



「生きもの〇×クイズ」（こうち環境博 2018）

6 体験型環境学習・研修イベント

1) 環境×仕事の現場を見に行くツアー「エシカル消費って何？」の実施

企業等による環境への取り組みを見学し、自分の目で見て当事者と対話し、自分ごととして何ができるかを考える学びの機会とすることを目的とするツアーを開催しました。主な対象者は中学生以上とし、「エシカル消費※」をテーマに、スーパーマーケットの店内を探検して、暮らしと環境のつながりを意識した消費行動や環境に配慮した事業活動について学びました。また、ツアーの様子を動画撮影し、えこらぼのホームページ等で公開し、情報を発信しました。

※「エシカル消費」：人体・環境への負荷、社会貢献などを重視して生産された商品やサービスを選択的に消費する行動及び理念のこと。

■日 時 2018年3月24日(土) 9:30~12:00

■会 場 土佐山田ショッピングセンター バリュエノア店(香美市土佐山田町栄町222番地)

■実施内容

1. 「エシカル消費」についての解説
2. (株)土佐山田ショッピングセンターの「モノベガワプロジェクト」等の取り組みについて、バリュエノア店店長と地域密着プロジェクトリーダーによる説明
3. グループに分かれて店内を探検し、商品説明等を参考に「地産地消」「ごみ削減」「安全」など「エシカル消費」につながる商品や取り組みを見つけその理由を考える。
4. 講師や担当職員との質疑応答や参加者間の意見交換
5. ツアーの様子を撮影した動画をホームページ等で公開

■講 師

(株)土佐山田ショッピングセンター バリュエノア店 店長 大石 篤 氏

(株)土佐山田ショッピングセンター 地域密着プロジェクトリーダー 村田 友子 氏

環境省 四国環境パートナーシップオフィス 内田 洋子 氏

■参加者 7名



買い物をするとき、何を基準に商品を選ぶ？



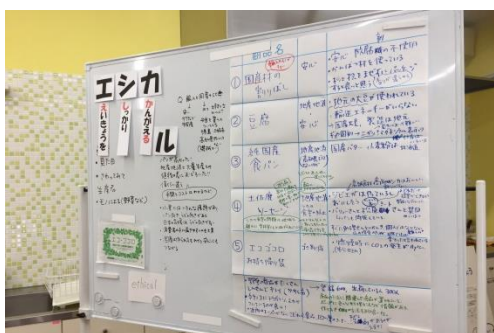
バリューは、「食」と「農」と「学び」と「地域」の融合をコンセプトにしています。



商品説明をじっくり読んで、
商品の特徴をワークシートに記入



輸入原料で大量生産された商品と
地産地消商品の違いは？



店内探検で発見したことを共有し、
意見交換を行いました。



参加者からは「商品の見方が変わった」という
感想が多く聞かれました。

7 環境活動団体の支援

1) 団体交流会の開催

「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」(p.13 4 環境イベントの開催)は、広く県民に環境学習の機会を提供するとともに、地域の環境活動団体の交流の機会として位置づけて企画したことを踏まえ、出展予定団体を対象に、開催準備・交流会を実施しました。

交流会には県西部地域の 6 団体が参加し、今回のイベントのねらいの一つである「環境学習の実施機会の拡大」についての意見交換を行いました。さまざまな事例や地域の課題を共有し、今後の団体支援のニーズを把握する機会となりました。

■参加団体：6 団体

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| ・ 特定非営利活動法人 NP0 砂浜美術館 | ・ は一と・らいふ村 |
| ・ Sakanayama Lab. (魚と山の空間生態研究所) | ・ 公益財団法人 四万十川財団 |
| ・ 大月町自然エネルギー研究会 | ・ 高知野鳥の会 |

■主な意見：

- ・ 学校からの講師の依頼は、「お任せしますのでよろしく」という主体性の薄い、単発的なものが多い。継続性のない活動では子どもの気持ちを引き出すゆとりがなく、一方的なものになりがち。
- ・ 大月町など人口の少ない地域には、中学校の部活動が運動部ばかりで、文化系や理科、科学の部活がない。
- ・ 学校はスポーツばかりを推奨するが、文化系の顕彰も必要ではないか。
- ・ 学校と行政にもっと環境活動を知ってほしい。そのためにはフィールドに出て体験してもらうための仕組みづくりが必要。
- ・ 環境学習の実施には、学校と講師の間でマネジメントをする人材が必要。

2) 助成金情報の提供

メールマガジン「えこらぼだより」や窓口対応等を通して、助成金や補助金募集に関する情報を提供しました。

■メールマガジン「えこらぼだより」

助成金情報の提供 57 件

8 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務

1) 環境学習プログラムリストの作成

学校・地域における環境学習機会の提供を拡大するため、学校向け・社会人向けの2種類の環境学習プログラムリストを作成、配布しました。

① 小学校向けプログラムリストの作成・配布

学校のカリキュラムの中での外部講師による環境学習の利用促進を図ることを目的に、教科内容と関連づけられた、学習内容を深めることのできるプログラムの提示を行うことを目的とするパンフレットを作成し、県内の小学校に配布するとともに、PDF版をホームページで公開しました。

小学校においては、2020年度に完全実施される新学習指導要領による英語の教科化などで総授業時間が増え、また、「主体的で深い学び」に向けたアクティブ・ラーニングの導入などにより、これまでの総合的な学習の時間を中心とした環境学習から、教科の中での環境学習の導入へと移行しつつあります。今回作成したパンフレットでは、これらの現状を踏まえ、全学年において最も授業数の多い国語科の題材に関連し、かつ理科や社会科など他教科との横断的な学習に活かすことのできる環境学習プログラムの例を示しました。

作成部数：2,000部

配布先：高知県内の小学校 203校、高知県・各市町村教育委員会

PDF版ダウンロードURL：<http://ecolabo-kochi.jp/use-program.html>



② 社会人向けプログラムリストの作成・配布

えこらぼの登録講師が実施するプログラムの中から、家庭生活や地域の自然、美化活動などの身近な事柄に関連のあるプログラムを選び一覧表で示すとともに、講師紹介・派遣事業の利用方法を掲載した資料を作成・配布しました。

配布先： 高知県内の公民館、高知県及び市町村教育委員会生涯学習課等

生涯学習や地域活動で活用してみませんか？

えこらぼの環境学習講師紹介・派遣

高知県環境活動支援センターえこらぼでは、地域における環境学習を推進するため、公民館やコミュニティセンター等への講師の紹介・派遣や企画・コーディネートなどの環境学習支援を行っています。
ご相談は無料です。また、主催者に、講師へ支払う謝金や交通費が一切ない場合があります。えこらぼが支援いたします。お気軽にご相談ください。

学習テーマ例

内容は、対象者の年齢や学年、実施場所に合わせてアレンジすることが可能です。

分野	テーマ	実施内容
自然観察 （野外活動）	原野でできる地球温暖化対策	高知湾地球温暖化防止活動推進員等を講師に、地球温暖化の原因と対策、原野でできることなどについて学びます。
	水がきれいにならば虫がいっぱい増えるかな？	お茶臼、馬場、栗原、吉原等から拾った水たまりの水の汚れや川や池などに生息する生き物について学びます。
	貝殻・植物から環境を考える	一つの貝殻が生きて、成長し、消費された後にどこかへと運ばれ、また、人や社会にかえり来る循環のことについて考えます。
自然観察 （屋内活動）	身近な生きものの関係し	野草、野生動物、昆虫など、身近な生きものとの生活について、写真などを見ながら学びます。
	地域の自然環境と生物多様性	生物多様性という国際的な課題と生物多様性に、地域での暮らしが与えている影響などについて学びます。
	豊かな自然と水と空気・利便のためのもの	河川がもたらしている生態系の豊かさや生産量確保に貢献し、美しい自然環境を守っていくことについて学びます。
体験活動 （屋内活動）	バーチャルカウチングなどの野外活動	自然観察指導員等を講師に、昆虫、植物、鳥類などの観察会を行います。
	自然素材を使ったものづくり体験	木、紙、顔料などを、自然素材を使ったものづくりに使います。
	リサイクル教室	豊かな自然環境をつくるために、資源減量を食生活に利用したくないけれど、捨てられないものはどう処理すればいいか？
自然観察 （野外活動）	緑地を使ったワークショップ	ごみやワイルドな草、インディアンとつながっているものなど商品つくり
	川や海をのびる田んぼの生きものの観察会	ふたば、魚通し、ごまなど近頃自前のものに不足するものを観察し、それらがどのようにして生きていくのかについて考えます。
	海岸・河川のくさけ観察	海岸や川沿いのくさけなど、くさけの種類と生態系を支えている役割を行い、プラスタックなどによる海岸汚染について考えます。
自然観察 （屋内活動）	スズランとクマノミ	あかしらの家から見た江戸時代からの里山風景の絵画に登場している植物と動物をポイントとし、観る楽しみ方を学びます。

環境学習データベース <http://ecolabo-kochi.jp/introduce.html>

えこらぼでは、高知市内で環境学習講座として活動する方に向けて無料で、ホームページデータベース公開しています。（登録者数 155 名、平成 30 年 3 月現在）、ご希望の方には講師の対象、開催地の条件で検索ができます。ぜひご利用ください。

えこらぼの環境学習講師紹介・派遣 ご利用手順

※費用がかかります。但し、講師の移動費・宿泊費・食事代等は別にお支払いになります。えこらぼが負担いたします。

- ①学習の計画を立てる**
学習の目的、学習の分野とテーマ、希望する講師、対象者と人数、いつ、どこで実施するか、予算などの情報を立てます。
- ②えこらぼに相談する**
↓
③講師と打合せ
↓
④講師派遣滞りの提出
↓
⑤学習会の実施

学習の計画に基き、目的に合ったプログラムや講師を選定します。また、えこらぼのホームページに掲載された講師の中から選ぶこともできます。
希望の講師が見つかったら、えこらぼに講師の日程や往復の経路を行います。

講師の時間をとおねがいしますので、依頼者の方から講師へご連絡し、内容の打ち合わせをお願いします。

※平日、営業内容が変更されたり、えこらぼに「講師派遣履歴」をご確認ください。

学習会が終了したら、2週間以内に関係する報告書をご提出ください。

よくあるご質問

- 申し込みはいまいかが大丈夫でしょうか？
- A. 実施日に講師が十分な打合せや準備ができるように、できるだけ実施日の 1 ヶ月前までにお申込みください。
- Q. 講師に必要になるものが手配できない場合はどうすればいいですか？
- A. NPJ に入社されている方ならちやうど全国環境教育センター等で、環境学習教材等の材料貸し出しを行っています。これのほかにも、高知市環境センターやえこらぼでもご利用いただけます。
- Q. NPJ に入社していない場合はどうすればいいのでしょうか？
- A. NPJ に入社していない場合は、<http://npj.org/kagawaconnect/> と<http://www.pef.kochi.jp/toshiki/030802/> のこのウェブページやえこらぼのホームページを通じてお問い合わせプログラムでも、実施してもらえますか？
- A. 実施したいプログラムが掲載されていなかったり、そんなプログラムを実施したいわけでもない場合も、お気軽にご相談ください。スタッフと相談しながら合ったプログラムを実施し、講師を紹介します。
- Q. P.T.A 行事や校外活動などとも実施できますか？
- A. えこらぼでは、学校の授業以外にも、様々な場面で環境学習を実施しています。もちろん、学校や地区、民間団体の条件に合わせていたプログラムをアレンジすることもできますので、ご相談ください。

対象者や人数、実施期間などの条件に合わせていたプログラムをアレンジすることもできますので、ご相談ください。

お申込み・お問い合わせ

高知県環境活動支援センター えこらぼ
TEL: 088-802-7765 FAX: 088-802-2205
e-mail: center@ecolabo-kochi.jp HP: <http://ecolabo-kochi.jp>
〒780-0855 高知市堀江町下町1丁目1番地1号 高知県環境活動支援センター
※受付時間：月曜日 9:00～17:00、火～水曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00
※休館日：祝日、第2水曜日は閉館



えこらぼ

公共交通の利用促進による CO2 削減を目的に、主に小学校を対象に、本物のバスと IC カードですかを使った出前授業を実施しました。

平成 29 年	9 月 8 日 (金)	高知市立十津小学校	4 年生 53 人
	9 月 22 日 (木)	高知市立介良小学校	4 年生 58 人
	12 月 1 日 (金)	高知市立介良潮見台小学校	5 年生 60 人
平成 30 年	1 月 29 日 (月)	高知市立潮江東小学校	4 年生 68 人

ICカード「ですか」を使った乗車体験を行う。



地球温暖化と公共交通の利用について学習



IC カード「ですか」を使ったバス乗車体験

3) 「こうちエコ川柳大賞」の実施

高知県の自然環境や環境問題についての気づき、エコに関する微笑ましい体験談等を五・七・五の川柳で表現する「エコ川柳」を募集し、大賞・優秀賞の受賞者に、県内企業によるカーボン・オフセット登録商品を贈呈しました。応募作品は、えこらぼのホームページ、メールマガジン「えこらぼだより」等を通じて公開したほか、イベント会場でも展示を行い、県民に楽しみながら環境について考える機会を提供しました。

募 集	発 表
第 1 回 平成 29 年 7 月 10 日～平成 29 年 8 月 20 日	平成 29 年 9 月 20 日
第 2 回 平成 29 年 9 月 21 日～平成 29 年 11 月 20 日	平成 29 年 12 月 4 日

■応募方法等

- ・応募条件：応募は 1 人 3 句まで。作品は、本人創作の未発表作品とする。
- ・対 象 者：高知県内在住者
- ・応募方法：ウェブサイトの応募フォーム、ハガキ、FAX のいずれかで応募。

■応募作品数

第 1 回 78 作品 (30 人) 第 2 回 120 作品 (50 人)

■審査・表彰

選考委員会により、大賞 1 作品、優秀賞 3 作品、入賞 10 作品を選考し、大賞・優秀賞の受賞者には記念品として、CO2 の削減に貢献するカーボン・オフセット付き商品をプレゼントしました。

- ・第 1 回記念品
 - 大 賞 (1 名)「土佐の果実 100%・飲むゼリー (8 個入り)」((株) 土佐名産会)
 - 優秀賞 (3 名)「40010 かりんとう (4 袋入)」(有限責任事業組合 LLP しまんと)
- ・第 2 回記念品
 - 大 賞 (1 名)「グルメ 6 缶セット」((株) 黒潮町缶詰製作所)
 - 優秀賞 (3 名)「ゼリー詰合せ (ゆず・文旦・グアバ)」
(有限責任事業組合 LLP しまんと)

■入賞作品

★ 第一回こうちエコ川柳大賞

ゴミ当番 今では楽しい ビン整理

★ 第二回こうちエコ川柳大賞

エコエコと 残さず食べて メタボ指導

☆ 第一回こうちエコ川柳 優秀賞

アッパッパ みんなで夏を 楽しもう

☆ 第二回こうちエコ川柳 優秀賞

時にはね 電気も休けい したいんだ

4) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布

高知県がめざす、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の3つの社会づくりに向け、県民一人ひとりの行動変容を促すことを目的としたポケット版リーフレット「まもろう高知の環境」を作成し、えこらぼが実施するイベントやツアー、環境学習の参加者等に配布しました。

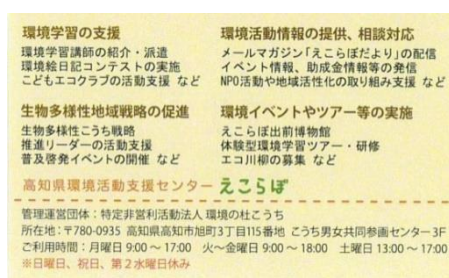


9 PR 活動

1) PR ツールの作成

えこらぼの認知度・存在感の向上を図るため、イベントやツアーの実施や出展の際に使用する、「高知県環境活動支援センターえこらぼ」のロゴの入ったのぼりを作成し、活用しました。

また、パンフレットよりも気軽に受け取ってもらえる PR ツールとして、えこらぼの連絡先や URL、事業案内を記した名刺大のカードを作成し、イベントや環境学習の参加者に配布しました。



2) 報道機関への情報提供

センターが行うイベント等の実施に際しては、事前の報道機関への情報提供や後援申請を確実にし、取材や情報発信を要請しました。

■報道実績

媒体		日付	内容
ラジオ	RKC「エコエコアラカルト」	6/12	えこらぼの紹介
		7/24	第1回 こうちエコ川柳大賞 募集
		10/2	第2回 こうちエコ川柳大賞 募集
		3/12	環境活動見本市 in 黒潮町 告知
新聞	高知新聞	8月	第1回 こうちエコ川柳大賞 募集
		10/29	第2回 こうちエコ川柳大賞 募集
		10/30	高知「環境絵日記」選考結果発表
		3/20	環境活動見本市 in 黒潮町
テレビ	高知ケーブルテレビ「Kochi on TV!」	3/3 ~ 3/9	こどもエコクラブ「タッキーこどもエコクラブ」の活動紹介
	KUTV「がんばれ高知! eco 応援団!!」	3/11	「こうち環境博」2018 えこらぼの出展ブース、生物多様性こうち戦略推進リーダーの出展ブースの紹介
	黒潮ケーブルテレビ	3/21~	環境活動見本市 in 黒潮町

ペットボトルを使ったクジラ作りに挑戦する
子どもたち(黒潮町のふるさと総合センター)



【幡多】身近な自然に
触れて遊びながら環境の
大切さを学ぼうと、幡多
地域の取り組みを集めた
「環境活動見本市」幡多
の「エコ大集合」が18日、
幡多郡黒潮町入野のふる
さと総合センターで開か
れ、子どもたちが多彩な
体験を楽しんだ。

県環境活動支援センタ
ーえこらぼの主催。運
営する認定NPO法人
「環境の杜」によ
ると、同様のイベントを
高知市以外で開くのは初
めて。幡多地域を中心
に海辺や川、森林などで
活動する団体が18の展示
・体験コーナーを設け

幡多の自然 楽しく体験

黒潮町 エコ見本市にぎわう

来場者は、テナガエビ
を捕まえる網「エビタマ」
や、ペットボトルをつな
いだクジラなどの製作に
挑戦。ヒトデやナマコな
どに触られるタッチパ
ールでは恐る恐る手を伸
ばし「つかめた!」と歓
声が上がった。

ヒノキの間伐材で「マ
イ箸」を作った上川口小
5年の大西亜舞さんと同
校3年の平野姫叶さんは
「木を深く削り過ぎたり
して難しかった」と書
でこはんを食べたい」と
気に入った様子だった。
(兵等 剛)

3月20日 高知新聞朝刊

10 センターの運営

1) センターの開館日及び開館時間

月曜日 9:00~17:00 火~金曜日 9:00~18:00

土曜日 13:00~17:00

休館日 日曜日、国民の祝日・休日、第2水曜日、年末年始（12月29日~1月3日）、
その他イベントの実施等に伴う臨時休館日（HP等で事前に告知）

2) 運営委員会の組織・運営

有識者等で構成する運営委員会を設置・開催し、センター事業への助言を得ました。

■平成29年度高知県環境活動支援センター業務外部運営委員 名簿

	団体名	役職	氏名
委員長	高知大学教育研究部 総合科学系	教授	飯國 芳明
委 員	高知県立のいち動物公園	園長	多々良 成紀
	高知市立一ツ橋小学校	校長	川崎 弘佳
	（ゆすはら）森づくり担い手育成塾	塾長	笹岡 高志
	高知県林業振興・環境部	副部長	森下 信夫
	特定非営利活動法人環境の杜こうち	理事	村越 真由加

■第1回運営委員会

平成29年9月19日 10:00～12:00 こうち男女共同参画センター3階研修室3

■第2回運営委員会

平成30年2月23日 13:30～15:30 高知市市民活動サポートセンター小会議室

3) 高知県との定期連絡会の開催

業務内容や運営方法等について、県所管課と協議する連絡会を行いました。

■第1回 6月7日(水)開催

■第2回 8月10日(木) 開催

■第3回 10月17日(火) 開催

■第4回 12月21日(木) 開催

高知県環境活動支援センターえこらぼ
平成 29 年度の取り組み

発行日	平成 30 年 3 月
発行	高知県環境活動支援センターえこらぼ (平成 29 年度高知県環境活動支援センター事業)
所在地	〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目 115 番地 こうち男女共同参画センター3 階
電話	088-802-7765
FAX	088-802-2205
E-mail	center@ecolabo-kochi.jp
ホームページ	http://ecolabo-kochi.jp/
利用時間	月曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 火 ~ 金曜日 9 : 00 ~ 18 : 00 土曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 ※日曜日、祝日、第 2 水曜日休み
管理運営団体	特定非営利活動法人 環境の杜こうち